



安全データシート
IRABOND RU80

項目1: 化学品及び会社情報

1.1. 製品特定名

製品名 IRABOND RU80

製品番号 ADH RU80

1.2. 化学品の推奨用途及び使用上の制限

特定された用途 プライマ。

1.3. 安全データシートの供給者の詳細

供給者

ITW Performance Polymers
Bay 150
Shannon Industrial Estate
Co. Clare
Ireland
V14 DF82
353(61)771500
353(61)471285
mail@itwpp.com

1.4. 緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 +44(0)1235 239 670 (24h)

項目2: 危険有害性の要約

2.1. 化学物質又は混合物の区別

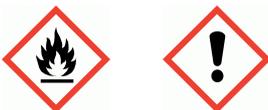
物理化学的危険性 引火性液体 区分2 - H225

健康有害性 眼に対する重篤な刺激性 区分2 - H319 特定標的臓器毒性 (STOT)、単回ばく露区分3 - H336

環境有害性 水生環境有害性、慢性毒性 区分3 - H412

2.2. ラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H225 引火性の高い液体及び蒸気。
H319 強い眼刺激。
H336 眠気又はめまいのおそれ。
H412 長期継続的影響によって水生生物に有害。

IRABOND RU80

注意書き

P210 熱 / 火花 / 裸火 / 高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。
 P261 蒸気 / スプレーの吸入を避けること。
 P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
 P280 保護手袋 / 保護衣 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。
 P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 P403+P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

含有物

ETHYL ACETATE

2.3. 他の危険有害性

この製品はPBTまたはvPvBに分類される物質を一切含まない。

項目3: 組成及び成分情報

3.2. 混合物

ETHYL ACETATE CAS番号: 141-78-6	60-100%
分類 引火性液体 区分2 - H225 眼に対する重篤な刺激性 区分2 - H319 特定標的臓器毒性 (STOT)、単回ばく露区分3 - H336	
TRICHLOROISOCYANURIC ACID CAS番号: 87-90-1 毒性乗数 (M) (急性) = 1 毒性乗数 (M) (慢性) = 1	1-5%
分類 酸化性固体 区分2 - H272 急性毒性 区分4 - H302 眼に対する重篤な刺激性 区分2 - H319 特定標的臓器毒性 (STOT)、単回ばく露区分3 - H335 水生環境有害性、急性毒性 区分1 - H400 水生環境有害性、慢性毒性 区分1 - H410	

全ての危険有害性情報の全文は項目16に示されている。

項目4: 応急措置

4.1. 応急措置の説明

一般情報

皮膚および眼との接触を避ける。事故が起きたときあるいは気分が悪い場合、直ちに医師の診察をうける (できればラベルを見せる)。直ちに被災者を空気の新鮮な場所に移すこと。何らかの不快感が続く場合には医師の手当てを受けること。被災者を熱、火花および炎から遠ざけること。

吸入

直ちに被災者を空気の新鮮な場所に移すこと。呼吸が困難な場合には、酸素が必要な場合もある。呼吸が呈している場合には人工呼吸を行うこと。被災者を暖かく保って休息させること。直ちに医師の手当てを受けること。

経口摂取

無理に吐かせないこと。被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。無理に吐かせないこと。被災者を汚染源から移動させること。口を水で十分にすすぐこと。直ちに医師の手当てを受けること。被災者を熱、火花および炎から遠ざけること。

IRABOND RU80

皮膚接触 被災者を汚染源から移動させること。皮膚を石鹼と水で十分に洗うこと。洗った後も刺激が続く場合には医師の手当てを受けること。

眼接触 被災者を汚染源から移動させること。コンタクトレンズがあれば取り外し顔を大きく広げること。少なくとも15分間洗い続けること。少なくとも15分間洗い続けること。洗った後も刺激が続く場合には医師の手当てを受けること。

4.2. 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

一般情報 記載されている症状の重症度は濃度および暴露の長さに依存して変化する。

4.3. 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

医師に対する特別な注意事項 特定の推奨事項はない。懸念がある場合には、直ちに医師の手当てを受けること。

項目5：火災時の措置

5.1. 消火剤

適切な消火剤 以下の消火剤を使用して消火すること：泡消火剤。粉末消火剤、砂、ドロマイトなど。

5.2. 化学品から生じる特定の危険有害性

特有の危険有害性 引火性が高い。蒸気は空気より重いので地表近くで広がり着火源まで相当な距離を移動して逆火するおそれがある。

5.3. 消火を行う者の保護

消火活動中の保護措置 リスクを伴わずに対処できるなら容器を火災区域から移動させること。火災に近い容器は移動するか水で冷却しなければならない。炎にさらされた容器は消火後も十分な時間冷却し続けること。封じ込めにより流去水を管理して下水道および水路に流入させないようにすること。

消火を行う者を保護するための特別な保護具 陽圧自給式呼吸器 (SCBA) および適切な保護衣を着用すること。

項目6：漏出時の措置

6.1. 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

人体に対する注意事項 引火性が高い。潜在的危険有害性について全員に警告し、必要に応じ避難させる。適切に換気すること。この安全データシート of セクション8に記載の防護衣を着用すること。流出の近くでは喫煙、火花またはその他の着火源は厳禁。蒸気の吸入および皮膚ならびに眼との接触を避けること。

6.2. 環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 流出物または流去水が排水管、下水道または水路に入るのを防止すること。水路への流出または制御不能の放出は直ちに環境省またはその他の管轄規制組織に報告しなければならない。

6.3. 封じ込め及び浄化の方法及び機材

浄化方法 不燃性、吸収性の材料に流出物を吸収させること。回収し適切な廃棄物用容器に入れて確実に密封すること。回収した流出物を入れた容器には必ず正確な内容物と危険有害性シンボルを標示しなければならない。

6.4. 他の項目の参照

他の項目の参照 この安全データシート of セクション8に記載の防護衣を着用すること。

項目7：取扱い及び保管上の注意

7.1. 安全な取扱いのための予防措置

IRABOND RU80

使用上の予防措置

換気のよい場所でのみ取り扱う。熱、火花および裸火から遠ざけること。Open drum carefully as content may be under pressure. 防爆型電気設備を使用する。静電気および火花の発生を防止しなければならない。流出を避けること。皮膚および眼との接触を避ける。製品使用中は、飲食及び喫煙してはならない。適切な換気および/または呼吸マスクを着用せずに密閉空間内で使用しないこと。適切に換気すること。蒸気の吸入を避けること。空気汚染が許容レベルを越える場合には承認を受けた呼吸マスクを使用すること。優良個人衛生手順を実行しなければならない。

7.2. 混触禁止物質を含む、安全な保管条件

保管上の予防措置

密閉した、元の容器に入れて乾燥した、涼しくて換気の良い場所に保管すること。最初の容器中でのみ保管する。混触危険物質(セクション10を参照)から遠ざけて保管すること。

保管クラス

引火性液体の保管。

7.3. 特定最終用途

特定最終用途

この製品の意図された使用はセクション1で詳しく述べられている。

項目8: ばく露防止及び保護措置

成分に関する注釈

WEL = Workplace Exposure Limits

TRICHLOROISOCYANURIC ACID (CAS: 87-90-1)

成分に関する注釈

成分には危険有害性があるため、暴露は最小化しなければならない。

8.2. ばく露防止

保護具



適切な設備対策

適切な全体換気装置および局所排気装置を設けること。防爆型の全体換気装置および局所排気装置を使用すること。

眼 / 顔面の保護

次の保護具を着用しなければならない: 化学物質飛沫ゴーグルまたは保護面。眼および顔面を適切に保護する個人用保護具を着用しなければならない。

手の保護

次の材料で作られた保護手袋を着用すること: ゴム(天然、ラテックス)。ネオプレン。ポリ塩化ビニル(PVC)。手を化学物質から保護するために、化学物質に対する不浸透性および分解耐性が証明されている手袋を着用しなければならない。選択される手袋は少なくとも8時間の破過時間を有していなければならない。

その他の皮膚及び身体の保護

化学品防護服を着用すること。

衛生措置

洗眼ステーションおよび安全シャワーを設けること。飲食物、動物用飼料から離して保管する。優良個人衛生手順を実行しなければならない。仕事を離れる前に手と他の汚染された身体の部位を石鹸と水で洗うこと。製品使用中は、飲食及び喫煙してはならない。

呼吸器の保護

換気が不十分な場合には、適切な呼吸用保護具を必ず着用すること。呼吸マスクの選択は必ず暴露レベル、製品の危険有害性および選択した呼吸マスクの安全作業限界に基づいて行わなければならない。次のカートリッジを装着した呼吸マスクを着用すること: ガスフィルタ、タイプA2。呼吸マスクが顔面に密着することおよびフィルタが定期的に交換されていることを点検すること。意図した使用に適した交換可能な吸収缶を装備したハーフマスク式およびクォータマスク式の呼吸用保護具を使用しなければならない。

項目9: 物理的及び化学的性質

9.1. 物理的及び化学的性質に関する情報

IRABOND RU80

外観	液体。
色	無色。
臭い	特有の臭い。エステル臭。
引火点	-4°C SCC (セタフラッシュクローズドカップ)。
相対密度	.86 - .94 @ @ 20 °C
溶解度	水に不溶性。
粘度	1-10 mPa秒 @ 25°C
その他の情報	データ無し。

項目10：安定性及び反応性

反応性	強酸化剤。強アルカリ。酸。
安定性	標準周囲温度および推奨条件で使用した場合は安定。
危険有害性反応危険性	データ無し。
避けるべき条件	熱、火花およびその他の着火源を避けること。
混触危険物質	強酸化剤。強アルカリ。強酸。重合性物質。
危険有害な分解生成物	以下の蒸気/ガス/ヒューム: 一酸化炭素 (CO)。二酸化炭素 (CO ₂)。

項目11：有害性情報

11.1. 有害性情報

急性毒性 - 経口

急性経口毒性推定値
(ATE) (mg/kg) 2,512,563.0

一般情報

長期にわたる長時間暴露および反復暴露は永久的な健康問題を招くおそれがある。

吸入

呼吸器系を刺激する。蒸気は中枢神経系に影響を及ぼすおそれがある。過剰暴露に続いて生じる症状には以下が含まれる場合がある：頭痛。吐き気、嘔吐。中毒。不快感を引き起こすおそれがある。

経口摂取

飲み込むと有害。

皮膚接触

皮膚を刺激する。皮膚接触により感作を引き起こすことがある。皮膚を通して吸収されるおそれがある。

眼接触

眼を刺激する。

進入経路

吸入 皮膚および/または眼との接触 摂取。

医学的症状

眼および粘膜の刺激。

項目12：環境影響情報

生態毒性

環境への放出を避ける。製品は水生生物に毒性で長期継続的影響により水生生物に悪影響を生じるおそれのある物質を含んでいる。

毒性

魚に対する毒性は考えられない。

IRABOND RU80

12.2. 残留性・分解性

残留性・分解性 この製品の分解性についてのデータは無い。

12.3. 生体蓄積性

生体蓄積性 生体蓄積性について利用可能なデータ無し。

12.4. 土壌中の移動性

移動性 排水管または水路あるいは地表へ放出しないこと。

12.6. 他の有害影響

他の有害影響 データ無し。

項目13：廃棄上の注意13.1. 廃棄上の注意

一般情報 廃棄物を取り扱う際には、製品の取り扱いに適用される安全措置を考慮しなければならない。

廃棄方法 現地の廃棄物管理当局の規定に従い認可された廃棄物廃棄物投棄地点に廃棄物を廃棄すること。

廃棄物クラス 08 04 99

項目14：輸送上の注意

一般事項 その他の情報は知られていない。

14.1. 国連番号

国連番号 (道路輸送/鉄道輸送) 1173

国連番号 (IMDG) 1173

国連番号 (ICAO) 1173

14.2. 品名 (国連輸送名)

品名 (国連輸送名) (道路輸送/鉄道輸送) ETHYL ACETATE

品名 (国連輸送名) (IMDG) ETHYL ACETATE

品名 (国連輸送名) (ICAO) ETHYL ACETATE

14.3. 国連分類 (輸送における危険有害性クラス)

道路輸送/鉄道輸送クラス 3

道路輸送/鉄道輸送ラベル 3

IMDGクラス 3

ICAOクラス / 区分 3

輸送ラベル

14.4. 容器等級

IRABOND RU80

道路輸送/鉄道輸送容器等級 II

IMDG容器等級 II

ICAO容器等級 II

14.5. 海洋汚染物質

環境有害物質 / 海洋汚染物質
該当せず。

14.6. 使用者のための特別予防措置

非常措置指針 (EmS) F-E, S-D

危険物識別番号 (道路輸送/鉄道輸送) 33

MARPOL73/78 附属書II及び IBCコードによるばら積み輸送
情報は要求されていない。

項目15 : 適用法令**項目16 : その他の情報**

改訂日付 2018/04/04

改訂版 7

破棄日付 2016/04/29

危険有害性情報の全文
H225 引火性の高い液体及び蒸気。
H272 火災助長のおそれ: 酸化性物質。
H302 飲み込むと有害。
H319 強い眼刺激。
H335 呼吸器への刺激のおそれ。
H336 眠気又はめまいのおそれ。
H400 水生生物に非常に強い毒性。
H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。
H412 長期継続的影響によって水生生物に有害。

この情報は明示されている特定の物質のみに関連するものでありこの物質を他の何らかの物質と併用したり何らかのプロセスに使用した場合には有効でない場合があります。上記の情報は、弊社の知識および確信のおよぶ限り、標示されている日付の時点において正確かつ信頼性の高い情報です。しかしながら、その精度、信頼性または完全性に関して一切の保証、補償あるいは表明を行うものではありません。各自の特定用途に対する上記情報の適合性に関して確認を行うことは使用者の責務です。